

## 技報の発刊に寄せて

工学部・工学研究科技術部  
統括技術長 星野 善樹

本技術部ではこれまで数年に亘って検討されてきた技術部の組織改革が昨年度「工学部技術部組織改革の骨子」として一応の収束を得ました。これにより本年度から新生技術部が組織され、改革試行 1 年目としてスタートしました。一方、全学的には独立行政法人化を視野に入れた技術部の将来像や技術支援の在り方など山積する問題について話し合いが行われ、技術部組織の全学一元化に向けた組織改編が検討されています。これらの組織改革は只単に技術職員が集中化する事ではなく、それぞれの技術職員が有する技術の更なる専門性の向上と各専門技術の有機的な連携を目指すものであり、同時に、提供する技術に対する責任が求められているということを忘れてはならない。

本技術部は、組織改革後、早 1 年が過ぎようとしています。この間、研修、特に学外研修研鑽を強化して技術の向上を図ると共に、技術部の組織的な運用による効率的な技術支援を行って工学部・工学研究科の成果に寄与しました。今後、技術職員においては研究教育の技術的支援に対する意識改革と日頃の弛まぬ自己研鑽・研修により一層の技術向上に努めていきたいと思えます。良い意味での競争意識をもってお互い切磋琢磨し、今以上に存在感のある技術部を目指したいと考えています。また、試行ということで組織運用上の新たな問題点も浮上してきましたが、技術部一丸となって改善してゆく必要があると思えます。

技術部組織改革試行 1 年の節目に際して、技術部の業務活動をまとめた本技報（Vol.5）について、実直なご意見や今後の指針等についてのご助言を賜れば幸いです。

最後に、この「技報」を発刊するにあたり、多大なるご尽力とご支援を賜りました工学部・工学研究科技術部長、各評議員をはじめ、教官、事務部、その他関係方々の皆様に心より厚くお礼申し上げます。